

臨床心理学研究科 成績評価に関するガイドライン

- (1) 本研究科では、評価基準に基づく厳正な成績評価を行い、5段階評定（A+, A, B, C, F）によって評価する。
- (2) 受講人数が10人を超えた講義・演習科目（但し、総合的事例研究演習Ⅰ・Ⅱ^{※1}は除く）は Grade Point Average (GPA)を用いた成績評価を行う。各対象科目のそれぞれの評点に対して、4.0を最上位とする Grade Point を与え、総単位数における GPA を算出し、履修指導の参考とする。ただし、受講人数が10人に満たない授業については成績分布に枠を設けない。
- (3) 評価、評価得点、GP得点、評価基準は下表のとおりである。

表 GP 得点及び成績分布基準

合否	評価	評価得点	GP 得点	
合格	A+	90点以上	4.0	特に優れた成績を示した者 (受講者の上位20%までの人数につけることができる)
	A	80~89点	3.0	優れた成績を示した者 (A+とAの学生が、合計で40%以内の人数になるようにつける)
	B	70~79点	2.0	合格と十分認められる者
	C	60~69点	1.0	合格と認められる最低限度の成績を示した者
	不合格	F	60点未満	0.0

(GPAの算出=各GP得点に単位数をかけて、その合計を総単位数で割る。
なお、不合格の評価には、履修放棄等も含まれ、GPA算出の対象科目となる。)

- (4) 実習関係の評価については、「実習オリエンテーション」にて説明される^{※2}。

※1) 総合的事例研究演習Ⅰ・Ⅱは事例研究論文作成に関わる授業であり、成績分布基準によらず評価される。

※2) 実習関連科目は成績分布基準によらず、量的・質的両側面から合評にて評価される。